

日産スタジアム
ボランティア

ボランチわ

2022年3月発行



第38号

「ボランチわ」は日産スタジアムボランティア情報誌です

1年9か月振りに横浜F・マリノス戦の運営ボランティア再開！

～ コロナ感染対策を十分に行って活動しました ～

12月4日(土)、Jリーグ今季最終戦として神奈川ダービーの横浜F・マリノスvs川崎フロンターレが行われました(観客数 30,657人)。国内のコロナウイルス感染者数がピーク時よりも大幅に減少し、入場制限が収容率50%に緩和されたことにより多くの横浜F・マリノスのサポーターが来場しました。2020年2月23日の横浜F・マリノス vs ガンバ大阪での日産スタジアム運営ボランティア活動を最後にコロナ禍で1年9か月間、ボランティア活動が休止しました。ようやくボランティア活動が再開されましたが、コロナ感染対策が強化されました。ボランティアは「コロナワクチン接種証明(または陰性証明書)」と活動前の2週間の健康状態をチェックした「活動者申告書」を会議室受付で提示する必要があります。検温とアルコール消毒を終えてから入室します。食事時以外は常にマスクを着けて、飲食時は黙食します。これ以外に変わった点のひとつが観客の入場チケットにおいて電子チケットが9割以上になったことです。



収容率50%ですが多くの横浜F・マリノスサポーターズでにぎわいが戻りました

ボランティアの笑顔で、スマイルスタジアム

[Ⅱ]

ボランティア 第38号

運営ボランティアの主要な活動のひとつにゲートにおけるチケットチェックがありました。4階・5階・7階の通路からスタンドに入るゲートで観客のチケットを確認していましたが、この活動が不要となりました。代わりにこの日の担当は東・西・南ゲートにおける観客の検温作業でした。従来よりもボランティアの人数は少なくなり、54名で活動を行いました。活動を始める前にモニター付非接触式温度計(写真参照)の使い方の説明を受けて、東・西・南ゲートに分かれて入場される観客の検温を行いました。ハンディータイプの温度計のモニターには観客の姿と体温が表示されます。37.5度以上の観客の場合には数字の色が赤くなります。また37.5度以上の観客の顔が赤く表示されるので、容易に判断できます(この日は37.5度以上の観客はいませんでした)。この温度計の使い方や、直射日光下でのモニターの見方など少し慣れが必要となりますが、時間が経つにつれスムーズに検温を行うことができました。この日は東ゲートで温度測定用カメラを設置して複数の観客を同時にパソコンの画面で検温する方法を採用しました。パソコンの画面に複数の観客の顔がスキャニングされて、体温が次々に表示されるので判断に慣れが必要です。パソコンの画面で判断できない場合には、バックアップとしてモニター付非接触式温度計を使って測定することになっています。

コロナ禍でボランティアの活動内容や募集人数はイベント毎に変わる可能性があります。運営ボランティアが継続的に活動できるように活動内容を検討して進めていきます。(久保勝美)



パソコンを用いた東ゲートでの検温作業



西ゲートでの検温作業



南ゲートでの検温作業



使用したモニター付非接触式温度計

「新横浜公園 凧揚げの日」

2022年1月9日(日)、寒いが続いていましたが、恒例の「新横浜公園 凧揚げの日」が行われました。昨年はコロナウイルス感染拡大により、「凧揚げの日」は止む無く中止となりました。2020年までは「凧揚げの日」にはビニールとストローを材料にした凧を用意していましたが、昨今のビニール製のレジ袋やプラスチックストローの削減に配慮し、SDGs(国連総会で採択された持続可能な開発目標)への貢献を見据えて、凧に使用する材料を変更しました。今年の凧は本体に和紙、骨に竹ひご、足に新聞紙を使用して、自然にやさしい材料としました。凧の材料を変更したことにより凧の飛び方に影響がないことを調べるために事前に何度もテストをしました。さらにコロナ禍で一般参加者とボランティアが密にならない様に、1回の凧作りの人数を制限するために、10時~13時30分まで30分毎に8回の受付時間を設定しました。一般参加した親子の中には、上手に凧に絵を描いていました。この日は風が弱く、空高く揚がる凧は少な目でしたが、子ども達は新横浜公園の芝生の上を精一杯走って、凧が揚がるのを見て喜んでいました。凧揚げの後には、「お正月遊び」として用意したけん玉、コマ回し、羽根つきや竹ぼっくりなどを楽しんでいました。コロナ禍で出かける機会が少ない中、「新横浜公園 凧揚げの日」は親子の触れ合いの機会となりました。スタジアムスタッフやボランティアの方々、お疲れ様でした。(久保勝美)



姉妹と弟が上手に干支の寅の絵を描きました



澄んだ青空に凧が高く上がりました



牛乳パックで作った竹とんぼを飛ばしました



上手に竹ぼっくりに乗りました

第18回インラインチャレンジ in 横浜

～ 子どもから大人までインラインスケートを楽しみました ～

11月14日(日)、日産フィールド小机の周辺で第18回インランチャレンジのイベントが開催されました。コロナウイルス感染者数が減少した状態が続いていましたが、コロナ感染防止対策を十分行いました。運営ボランティア事務局員から参加者を募り、過去のインラインチャレンジのボランティア経験者を加えて活動を行いました。インラインスケートをはいた競技者が日産フィールド小机の周回コースを走行する競技です。ボランティアは周回コースを横断する歩行者の誘導や、歩行者が競技エリアに入らないように注意喚起を行いました。久しぶりのボランティア活動でしたが、小さい子ども達や大人がインラインスケートを楽しむ人たちの姿を見て、新横浜公園や日産スタジアムにおいてにぎやかなイベントが再開されることを切に願いました。(久保勝美)



スタートラインのインラインスケートの選手たち



活動に参加したボランティアの皆さん

2021年度グリーン&クリーン部会の活動について

今年度も新横浜公園市民活動支援事業として「親子で楽しく米づくり、植えて覚えよう花の名前」の活動を実施しました。昨年同様に新型コロナウイルス感染拡大が続き、市民活動支援事業を進めていくには厳しい一年でした。新横浜公園のスタッフの皆様と調整を図り、参加された市民の皆さん・グリーン&クリーン部会員と一緒に、感染拡大防止対策を最優先に掲げて計画した事業を安全・安心に終わらせることができました。今年は、新横浜公園の田んぼの入り口に市民募集チラシを掲示した効果もあり、早い段階で定員を越えました。コロナ感染拡大の不安な環境下にも拘らず、公園を散策する家族からも応募を頂きました。今年のお米の収穫は、玄米で約32kgの収穫でした。また4月12日～5月23日には、港北オープンガーデンに参加してYouTubeで動画が紹介され、新横浜公園内の当方の花壇、メドウガーデン、バタフライガーデンは一体となった花園を見ることができました。(担当 中尾吉宏一)、(写真提供 日産スタジアムスタッフ、久保勝美)

「田植え・花植え体験」

今年も「田植え・花植え」体験のイベントを企画して一般参加の募集をしたところ多くの参加者の申し込みがありました。5月23日(日)、絶好の天気となって一般参加18家族(58名)とグリーン&クリーン部会スタッフ18名で楽しく実施しました。親子は初めにボランティアから田植えの説明を聞いて、密にならない様に、順番に田んぼに入りました。子どもたちは田んぼのぬかるみに足をとられてうまく動けませんが、親子で協力して田植えを進めて行きました。木の札に子どもたちのメッセージを書いて、田植えを終えたところに打ち込みました。「おいしいお米になってね」といった微笑ましいメッセージもありました。

また色とりどりの花の苗を子どもたちが花壇に植えて、最後に水をやりました。



親子は初めに田植えのやり方を教わりました



親子で力を合わせて田植えをしました



シャベルで穴を掘って花を植えました



花の苗を上手に植えることができました



参加した親子と運営ボランティアとスタジアムスタッフが稲の成長を願いつつ田植えを終えました

「案山子作り体験」

8月22日(日)、汗が噴き出る気候の中、案山子作り体験のイベントを実施しました。多くの一般参加者の申し込みがありましたが、コロナ対策で密とまらない人数に絞り込みました。その結果、一般参加24名とグリーン&クリーン部会スタッフ15名、そして城郷小机ケアプラザからも参加されました。案山子作りの作業時間を短くする様に、事前にボランティアが案山子の骨組みやパーツを準備しました。出来上がった案山子了新横浜公園の田んぼの前に展示して、眺めてみると案山子の大きさが揃って、見事な出来栄でした。例年通り新横浜公園をランニングや散歩している人たちが思わず足を止めてすばらしい案山子を写真に撮っていました。



出来上がった案山子を持って親子と運営ボランティアとスタジアム職員がスタジアムの中で記念撮影



親子とボランティアが協力して案山子を組み立てました



案山子のかわいらしい顔を描きました



親子で作ったカラフルな案山子が田んぼの横に整列しました

「稲刈り・花植え体験」

10月3日(日)、一般参加者58名とグリーン&クリーン部会30名により稲刈り、花植え体験のイベントを行いました。前々日に台風が接近し、前日夜には大雨により田んぼに大量の水が溜まったため、スタジアムスタッフとボランティアが必死に水を汲み出し、どうにか間に合わせました。初めにボランティアから稲刈りのやり方を教わった親子は鎌を持って稲刈りを行いました。慣れてくると鎌を上手に使用して、田んぼの稲をどんどん刈り取りました。最後にうれしそうな表情をして参加者全員で集合写真を撮りました。



親子で助け合って稲刈りしました



慣れてくると上手に稲刈りができました



稲刈りが無事に終わってみんなで万歳しました

東京オリンピック・パラリンピックボランティアの経験談

ID 番号: U-1999905 氏名: 浅見 圭一
シティキャストの最終研修のときでした。向かいに座っていた方は目が不自由な方で、研修が始まると椅子の下には盲導犬が気持ちよさそうにすやすやと眠っていました。その盲導犬は中型犬くらいの大きさで、とても愛らしかったです。無観客の開催が決まり、ライブサイトでの活動も休止が決まった直後で皆不安な中で、コロナ禍の不安を忘れることができたひと時でした。シティキャストあの盲導犬と一緒にライブサイトに来られるお客様のご案内をしたかったです。これからは障害のある方と一緒に活動する時代になるのかなとも思いました。

ID 番号: U-2013051 氏名: 本田 明美
サッカーW杯、ラグビーW杯に続き TOKYO2020 ボラも目標にして来ました。2020年3月2日に早速ボランティア採用のメールをいただきました。面接で長年日産スタジアムボラ活動をアピールしたのですが、逆効果なのか1年ボラ経験有だからか配属が味スタの観客案内でがっかり。延期、無観客開催となり活動なしで終わりでもいいと思っていたところ、スタッフが活動を設けて下さり1日活動しました。スタジアム外でスタッフの誘導、外国語も使わず。TVでボラに感謝報道とは裏腹に今まで一番空しい活動になりました。しかしこれも通過点、外国語案内力もUPし、また日産スタジアムボラでがんばります！

＜＜ 袖を通すユニフォーム ＞＞

ID 番号: 2017024 氏名: ハツ橋 隆

2020 東京オリンピックはフィールドキャストとして横浜スタジアムでのアスリートサービスで参加して様々な体験が出来ました。当然、東京シティ・横浜シティと活躍を期待してフィールドキャストとのダブルブックイングにならない様にスケジュール帳と睨めっこして調整しました。しかし、無観客決定で全ての仕事がキャンセルになり一回もシティ用ユニフォームが着れずに筆筒の肥やし状況でした。

その中で東京シティは銀座スクエア、お台場、羽田と限定ウエルカム業務を募集することになりました。でも、緊急事態宣言で越境の移動制限のため都民在住の限定で神奈川県民を含め都外民は対象外になりシティユニフォームは永遠に筆筒の飾り物で終わる状況でした。でも神様は希望の現代の光で zoom での場内案内業務を授けてもらいました。銀座スクエアでの業務で現場参加の都内民シティの方が首からタブレット《ハツ橋の上半身姿が》を下げて場内案内しました。来場者に話しかけ双方向で対話も出来ました。しかも二回募集に当選でした。どうにか上半身でも東京シティのユニフォームに袖を通す事が出来ました。今までのボランティア活動の経験を生かしたか不明ですが、今まで積極的に声掛けしていた事がタブレットからの声も自然に出来て参加している意識が高まりました。

＜＜ ボッチャ競技の感動 ＞＞

ID 番号: 2018008 氏名: 村木茂弘

東京パラリンピックでボッチャ競技が開催された有明体操競技場で、各国の組織委員会やボッチャ競技関係団体の委員専用のラウンジや客席の運用を行うボランティアに参加しました。

ボッチャの競技自体大変面白いものですが、競技会場の雰囲気は将棋のタイトル戦のように静寂の中に緊張感が張り詰めているような独特のものでした。観戦しているのは、選手団、マスコミ、各国委員とボランティアという寂しい状況でしたが、スーパープレイには自然と拍手が沸き起こります。大会終了時には、国籍を超え、障害の有無に関係なく気持ちがひとつになったような感動を覚えました。オリンピックでは、横浜スタジアムで観客の誘導、案内を行うこととなっていました。無観客となったため1日だけの参加となりました。その残念さをパラリンピックが満たしてくれました。自然と「アリガトウ」という言葉が出た大会でした。

ID 番号: 1999171 氏名: 上田敏彦

私は、オリンピック・パラリンピックの活動は、ファーストレスポnder(お客様の医療関係のサポート)で活動予定でしたが、コロナ禍のため無観客になりましてオリンピックでは、馬事公苑で一日だけ、ファーストレスポnderの活動をして、人馬一体での競技を体験することが出来ました。パラリンピックでは、メダルセレモニー(五輪組織委員会・会長橋本聖子さん)とボランティア十数人と一緒に写真を撮りました。活動は、表彰式の準備でお盆に載せてある手に触れることもできないメダルと花束をテーブルまで運びましたが、メダル(金2個・銀2個・銅2個、3.5kg)を運ぶ際は緊張感がありかなり重く感じられました。学校支援活動ではオリンピックスタジアムのスタンド内で、小学生・高校生に対して場内案内を行いました。また、開会式の予行練習では、選手の代わりに場内でジャマイカ国旗を持って行進し、開会式当日は、絵画館前バス停で、日本選手団・アメリカ選手団・フランス選手団・中国選手団等々の車椅子専用のバスから降りられる選手の方々に対してお迎えの活動をしていました。選手の方々にかたごとの英語でも、理解して頂き楽しい時間を過ごせました。コロナ禍ではありませんでしたが、一生に一度しか体験できない活動は、2020 サッカーワールドカップ・2019 ラグビーワールドカップ・2020 東京オリンピック・パラリンピックの3大会のボランティア活動ができたことは、これからの活動にも生かせるように努力していきたいと思えます。

ID 番号: 2008010 氏名: 坂本 靖幸

2018年9月、横浜市・都市ボランティアに応募しました。2019年6月、オリエンテーション(説明会・面談)、11月、共通集合型研修、2021年1月のオンライン交流会(web会議システム)は、グループディスカッションでした。4月、役割別オンライン動画必須研修、6月、リーダーシップオンライン動画必須研修、6月の活動場所別集合型研修は、スマートフォンでQRコードを読み取って、横浜スタジアム周辺の活動エリアを音声ガイドで確認するためのツールが良かったです。2021年7月9日、新型コロナウイルス感染症拡大により、1都3県で実施される競技は無観客による開催が決定しました。応募してから3年に渡り大会に向けて研修に参加しました。7日間の関内エリア・美化推進(リーダー)を予定していましたが、活動が全て中止になりました。今後は、研修を通じて得た経験をボランティア活動に繋げて行ければと思います。

ID 番号: 2016013 氏名: 久保勝美

東京オリンピックでは横浜スタジアムでソフトボールと野球競技の10日間のイベントサービスの活動予定でしたが、無観客開催となりイベントサービスの活動が無くなりました。横浜スタジアムでは野球の日本対メキシコ戦の1日間だけ活動して、ファールボールやホームランボールを回収しました。山田哲人選手のホームランボールを手にして、いい思い出になりました。東京パラリンピックでは東京国際フォーラムでパワーリフティングの3日間のみ表彰式の手伝いやプレスエリアのアクレディテーションカードのチェックを行いました。オリパラの活動中は知らない人の中で心細い思いをしましたが、両方の会場で日産スタジアムのボランティア仲間と偶然お会いでき、心細い気持ちが吹き飛びました。期待していた活動内容とは異なりましたが、オリパラの選手の活躍や運営スタッフの献身的な働きを見ることができて、大会ボランティアに参加できて良かったと思えました。

1 新事務局員紹介(赤平さん、青山さん、神村さん)

資料: 令和3年4月改定「事務局設置要項」「ボランティアガイド」

「2021年度 部会登録者(羽賀さん作成)」

新事務局員3名

赤平さん 2018年から参加。楽しく活動したい。英語ができます。

青山さん 2017年から参加。スタジアムボランティアでもう少し何かできることはないかと思っていたところに事務局員に参加できた。頑張りたい。

神村さん 2018年から参加。フットワークの良さを生かして頑張りたい。

事務局員8名

安田さん 最初から参加。21年目。身辺整理中。

中尾さん 2012年から参加。G&C部会。年間いろいろな活動をしている。

久保(勝)さん 2016年から参加。情報部会。ボランチわを続けていきたい。

久保(正)さん 21年目。イベント部会。ボラ活動がないので、部会も休会中。

大家さん 21年目。リーダー部会。この中では最年少。

上田さん 21年目。リーダー部会。

羽賀さん 2013年から参加。リーダー部会。

大橋さん(欠席)21年目。活動当日の受付やみなさんのお弁当、交通費対応等をしていただいている。

2 今後の活動予定について

10/16のJリーグ(ワクチンパッケージ)は観客11,500人。PCR600人くらい。〈ボラ活動なし〉

11月Jリーグでの活動は相談中。

12月最終戦はマリノスがフル観客を希望調整中。ボラ活動再開したい。

1月15日ラグビーキヤノン。1階層のみ使用予定。ボラ活動ある予定。

11月14日インラインチャレンジの活動依頼がきている。活動内容はコース横断安全管理。メンバーピックアップして個別依頼予定。新事務局員はご参加いただきたい。

・ボランティア活動参加条件について

「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのボランティア活動参加条件について」のとおり。

活動者申告書(健康状態チェックリスト)に「活動の参加に対して家族等の了承を得ていない」を追加とする。

・「新人研修」「FSVA」「新横浜公園風揚げの日」等の今後の取組方針

「新人研修」は、自ら応募してきている人達を待たせている。やるべきだ。(大家さん、上田さん、久保勝さん)

活動再開がみえてきたら、緊急事態宣言下でもなくなったので、開催調整検討していきたい。

実地は良かったが、今後分けて講座をしてもいいのではないか。日本財団の講座はちょっと退屈(「FSVA」受講生だった赤平さん・神村さん)。

「しめ縄」ボラのみでの実施をこれから検討する。(G&C、イベント部会)。来年度の一般参加イベントを部会に開催検討してほしい。

「風揚げの日」1月9日開催予定。活動ご協力を。昨日用意した風を使用、昨年予定したとおり貸出風はやらない、風作りは参加者事前申込をしてもらう。

3 その他

・20周年記念モニュメント検討案件紹介

これまでのご希望の植樹は困難なため、代替提案。スタジアムツアーリニューアルにあたり、ボランティアコーナーへ記念プレートを設置。2月にツアープレオープン予定。

・2022年度ID更新への取組

2021年度の285名へはほとんどが渡せていない。2022年度IDに利用できないかの案は、年度と期限が書いてあるので不可。写真の2022年度への再利用もしない。う。毎年申請、更新を実施する。

・部会報告

G&C

市民活動支援事業を続けている。オープンガーデン参加、田植え・かかし・稲刈りを終了し、脱穀を近日中に実施予定。

中央広場花壇維持。麻生養護学校の春・秋の花植え活動をコロナ対策をして実施。

4年実施している。

情報部会

ボランティアは活動がないとなかなか埋まらない。12月末に原稿を完了したい。

1月中旬に尻揚げ記事を入れて、更新書と一緒に発送する。

リーダー部会

11月3日、6日に活動が入った場合、感染対策としてそれぞれメンバーは別にしたい。

(リーダーは除く)。事前にZoom会議を実施する。

10月16日のJリーグの状況:入場は東西のみ。退場は全て開けている。

キッチンカー34台。台数を増やしている理由は、待機列を減らすため。

検温37.5度以上の観客対応が難しい。

ボラができること案:場内案内。手すり除菌。感染対策看板(ディスタンス、除菌など)を持ってアナウンスする。

・その他

ボラのSNS、掲示板、アンケート、インスタ。

ボランティアシステムは双方向のものはない。ボランティアシステムがどういうものか伝わっていない。研修が必要か。

日産スタジアム運営ボランティア 新事務局員紹介

I) 赤平紀明さん

2018年から日産スタジアムボランティアの活動を行っています。経験は浅いですが皆さんと協力しながら、また多くを学んで、より良い活動を目指したいと思います。私は海外生活が長かったので、会話も含め、英語で表現することに慣れてしています。この点でも何かお役に立ちたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。



赤平紀明さん

Ⅱ) 青山亜紀さん

2017年に日産スタジアムボランティアに加わりました。日頃、ボランティア活動に参加しながら、もっと日産スタジアムボランティアのために何か役立つことがないかなと思っていました。そこに今回の事務局のメンバー要請のお声かけがありましたので、喜んでお受けしました。やる気がありますので、どうぞよろしくお願いします。



(左) 青山亜紀さん
(右) 神村芳子さん

Ⅲ) 神村芳子さん

2018年から日産スタジアムボランティアとして活動しています。これまで日産スタジアム以外のボランティア活動も経験してきましたので、フットワークの良さを生かしながら事務局でお役に立ちたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

日産スタジアム運営ボランティア20周年記念プレート

日産スタジアム運営ボランティア20周年記念プレートが出来上がりましたのでお知らせします。プレートには、大変ありがたい以下のメッセージが刻まれています。

『1999年に誕生し2002 FIFAワールドカップ日韓大会を経て皆様の活躍が日産スタジアム及び新横浜公園の様々な取り組みを支えてくださいました

ボランティア創立20周年を迎えるにあたり他のスタジアムには見られない誇らしい皆様の活動に対してエールを送ると共に深く感謝の意を表します 名誉場長 小倉純二』

20周年記念事業実行委員会では、10周年記念と同じように20周年記念でもヨコハマヒザクラの植樹を希望していました。しかし新横浜公園一帯に新規に植樹することは、難しい状況から植樹に代わる記念事業を模索してきました。今回の20周年記念プレートはこのような背景の元で作成されました。1枚の20周年記念プレートがボランティアルームに置かれていますが、もう1枚のプレートは日産スタジアム内に掲示される予定です。ボランティア活動が行われる時には、ぜひご覧ください。(20周年記念事業実行委員会 久保勝美)



ボランティア20周年記念プレート

※ INFORMATION ※

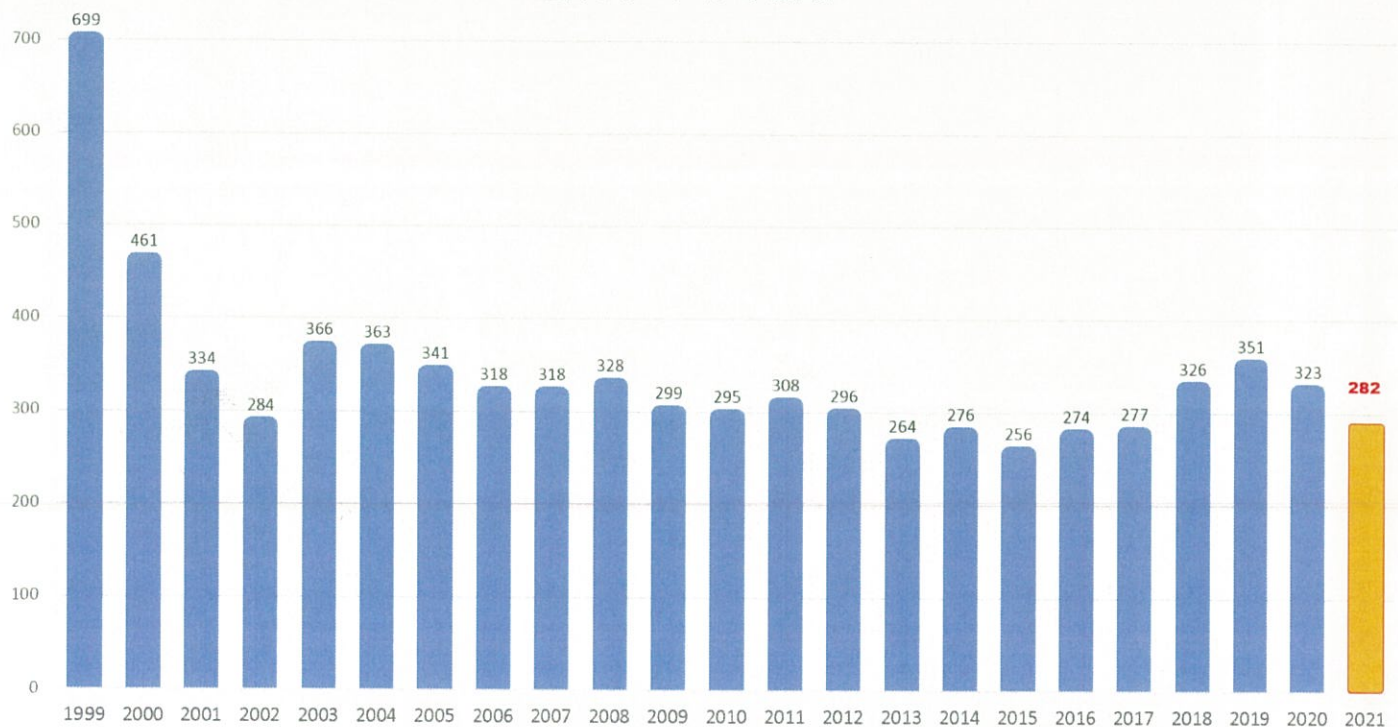
令和4年1月～令和4年3月の活動予定

月日	イベント名	集合時間	終了予定	要員
2/12 (土)	FUJIFILM スーパーカップ2022	8:30	16:00	100人
2/19 (土)	Jリーグ 横浜F・マリノス vs セレッソ大阪 (第1節)	10:30	16:00	60人
2/23 (水・祝)	Jリーグ 横浜F・マリノス vs 川崎フロンターレ(第9節)	10:30	16:00	60人
3/2 (水)	Jリーグ 横浜F・マリノス vs ヴィッセル神戸 (第10節)	16:00	21:30	60人
3/6 (日)	Jリーグ 横浜F・マリノス vs 清水エスパルス(第3節)	10:30	16:00	60人

※イベントの時間や人数の変更、活動中止の可能性あります。活動参加の連絡が届いた場合は確認してください。

日産スタジアム運営ボランティア登録の推移

日産スタジアム運営ボランティア登録者の人数は2019年が351名で、2020年の323名、2021年の282名と減少傾向が続いています。2020年初めからコロナウイルス感染拡大によりイベントの中止が続き、ボランティア活動がほぼ無い状況となっています。またコロナウイルス感染の様子を見ながらボランティア登録を見送っている方々もいらっしゃるかと推測しています。コロナ感染の終息後には、多くのボランティアが戻ってきていただきたいと思っています。（データ提供：日産スタジアム運営ボランティア事務局）



日産スタジアム運営ボランティア登録の推移（1999年～2021年）

写真提供：日産スタジアムスタッフ、久保勝美

編集後記

『新横浜新聞』をご存じでしょうか。新横浜や菊名周辺に特化した地域インターネット新聞で2016年7月から発行しています。私は昨年7月に東京オリンピックのニュースをパソコンで検索している最中に「日産スタジアムを五輪仕様に装飾も……結局は“無観客オリンピック”」の見出しを『新横浜新聞』の中に見つけました。日産スタジアムの周辺の TOKYO2020の装飾写真が掲載されており、いつも見慣れている風景とは異なりオリンピック会場らしい華やいだ雰囲気となっていました。最近の『新横浜新聞』には「F・マリノスが2月19日(土)＜本拠地開幕＞、日産スタジアムで計14試合」を記事にしています。クラブ創設30周年を迎える横浜F・マリノスの試合日程を掲載しています。興味がありましたら、インターネット検索エンジンを用いて『新横浜新聞』を調べてみて下さい。

昨年2月の段階で、100名近くの日産スタジアム運営ボランティアが東京オリンピック・パラリンピックボランティアに登録していました。コロナ禍でも予定通りにボランティア活動を行った方々もいらっしゃいました。一方、無観客の開催となったため、活動日程が白紙となって競技会場など活動エリアに一度も行くことがなかった方もいらしたと聞いています。ボランティア本号では「東京オリンピック・パラリンピックボランティアの経験談」の投稿の呼びかけに応じた9名のコメントを掲載しました。投稿された方々、ご協力ありがとうございました。今回、投稿されなかった日産スタジアム運営ボランティアにも、それぞれの東京オリンピック・パラリンピックの思い出があったことでしょう。私も期待していた活動内容を行うことはできませんでしたが、忘れられない貴重な経験でした。（久保勝美）

発行・編集：日産スタジアム ボランティア事務局 情報部会

〒222-0036 横浜市港北区小机町3300 日産スタジアム Tel: 045-477-5030 FAX: 045-477-5002